

令和6年度 シラバス

|       |  |   |  |     |     |
|-------|--|---|--|-----|-----|
| 教 科   | 農 業  | 学科・学年   | 生産科学科 第3学年   | 単位数 | 2単位 |
|       |  | 教科書   | なし   |     |     |
| 科 目   | 課題研究   | 副教材   | なし   |     |     |
| 科目の目標 | (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。<br>(2) 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。<br>(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |   |  |     |     |
| 評価の観点 | 知識・技術【知】   | 思考・判断・表現【思】   | 主体的に学習に取り組む態度【主】   |     |     |
| 趣 旨   | 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。   | 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。 | 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 |     |     |

| 学期          | 学習内容  | 学習活動・学習のねらい   | 評価の観点 |   |   | 評価規準   | 評価方法                         |
|-------------|---|---|-------|---|---|--|------------------------------|
|             |   |   | 知     | 思 | 主 |  |                              |
| 一<br>学<br>期 | 1 オリエンテーション<br>「課題研究」の意義や評価の方法を理解します。<br><br>2 実習部門<br>【作物】<br>例 作物の栽培<br>(イネ、ダイズ、麦)<br>(1)播種 (2)定植<br>(3)除草 (4)追肥<br>(5)収穫 | 1 専攻班やグループに分かれて実習や研究活動を行い、農産物生産に関する体験的な実験・実習を通して、課題解決のために必要な知識と技術を習得します。                              | ○     |   |   | 農業の各分野について体系的・系統的に理解し、相互に関連付けられた技術を身に付けているか。                         | 研究レポートや実習の技能から総合的に評価します。     |
| 二<br>学<br>期 | 【野菜】<br>例 夏野菜<br>(キュウリ、スイカ)<br>(1)播種<br>(2)施肥・消毒<br>(3)収穫<br><br>【果樹】<br>例 ブドウ・キウイ<br>(1)摘果 (2)消毒<br>(3)収穫                  | 2 農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決能力や自己教育力などを育成するとともに、プロジェクト学習や各分野の専門科目の学習と関連付けて考え、農業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を養う。 |       | ○ |   | 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けているか。 | 記録簿から評価します。                  |
| 三<br>学<br>期 | 【草花】<br>例 苗物栽培<br>(1)播種 (2)鉢あげ<br>(3)施肥・消毒<br>各種菊栽培<br><br>【バイテク】<br>例 各種ラン<br>(1)植え替え<br>(2)支柱立て<br>(3)鉢替え                 |   |       |   | ○ | 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。            | 服装や、実験・実習に取り組む態度から総合的に評価します。 |